

剣道・居合道および杖道錬士称号審査会要項

1. 受審資格

- (1)六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和4年5月31日以前に取得）した者。
 (2)五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成25年5月31日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条2項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間3年は、令和2年2月以降とする。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会および大会が通常にできていないため、審判講習会は1回以上、審判歴は3回以上とする。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦審議会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日 剣道（令和5年5月6日）居合道・杖道（令和5年5月3日）とする。

※全剣連社会体育指導員中級取得者は小論文提出を免除する。

2. 申込方法

受審希望者は、所定の錬士受審申請書と小論文（自筆、パソコン不可）に講習手帳を添え、加盟団体へ申込むこと。⇒**受審希望者は、2月13日（月）までに目剣連事務局に申し込んでください。受審申請書等の必要書類を郵送します。**

加盟団体は、受審希望者の受審申請書と小論文および講習手帳を取りまとめ候補者推薦書（一表）を添付して2月24日（金）までに東京都剣道連盟に申込むこと。なお、受審申請書は必要に応じてコピーすること。 〒105-0004 港区新橋4-24-2 TEL 5405-2166

3. 小論文

- (1)課 題 剣道・居合道・杖道共に平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道・居合道・杖道修業について述べなさい。
 (2)字 数 400字以上800字以内
 (3)用 紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～4行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上をホッチキスで止めること。（凡例参照）
 (4)提 出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道錬士受審」・「居合道錬士受審」・「杖道錬士受審」のうち該当するものを、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記し封印すること。

4. 審査の方法

(1)小論文の審査

全剣連は小論文について、課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道・居合道・杖道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2)審査会による審査

全剣連は小論文を採点のうえ審査会に付議して可否を決定する。

5. 選考料

1人 2,200円（消費税含む）

6. 審査料

13,200円（全剣連分7,700円、東剣連分5,500円）消費税含む。

※東京都剣道連盟の称号推薦審議会では不合格になった者には返金する。

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」6月号および全剣連ホームページ (<https://www.kendo.or.jp/>) に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

以下を申込者に周知して下さい。

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道・居合道・杖道の普及発展のため、マスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

剣道・居合道および杖道教士称号審査会要項

1. 受審資格

錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和3年5月31日以前に取得）した者。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第2条第2項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間3年は、令和2年2月以降とする。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会が通常にできていないため、指導者講習会は1回以上とする。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦審議会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日 剣道（令和5年5月6日）居合道・杖道（令和5年5月3日）とする。

※全剣連社会体育指導員上級取得者は小論文を免除する。

2. 申込方法

受審希望者は、所定の教士受審申請書と小論文（自筆、パソコン不可）に講習手帳を添え、加盟団体へ申込むこと。⇒**受審希望者は、2月13日（月）までに目剣連事務局に申し込んでください。受審申請書等の必要書類を郵送します。**

加盟団体は、受審希望者の受審申請書および小論文と講習手帳を取りまとめ候補者推薦書(一表)を添付して2月24日（金）までに東京都剣道連盟に申込むこと。なお、受審申請書は必要に応じてコピーすること。

〒105-0004 港区新橋4-24-2 TEL 5405-2166

3. 小論文

(1)課 題 剣道の課題「剣道指導者としてのあり方」、居合道の課題「称号（教士）としての指導への取り組みについて」、杖道の課題「称号（教士）としての指導と今後の杖道普及への具体的な取り組み」

※再受審者についても上記課題の小論文提出といたします。

(2)字 数 800字以上1,200字以内

(3)用 紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）用紙1～3行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙の右上をホッチキスで止めること。

(4)提 出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道称号教士受審」・「居合道称号教士受審」・「杖道称号教士受審」のうち該当するものを、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記のうえ封印すること。

4. 審査の方法

この度、新型コロナウイルス感染拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、上記のとおり課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して可否を決定する。

5. 選考料 1人 2,200円（消費税含む）

6. 審査料 16,500円（全剣連分11,000円、東剣連分5,500円）消費税含む。
※東京都剣道連盟の称号推薦審議会では不合格になった者には返金する。

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」6月号および全剣連ホームページ(<https://www.kendo.or.jp/>)に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

以下を申込者に周知して下さい。

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道・居合道・杖道の普及発展のため、マスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

剣道称号・段位（四段以上）審査申込書

令和 年 月 日

一般財団法人目黒区剣道連盟事務局 行
FAX 03(3792)8224

次のとおり剣道の審査を受けたいのでFAXにより申し込みます。

なお、審査料及び手数料は、期日までに郵便振替により貴口座に払い込みますので、受審手続きをしていただきたくお願いします。

受審称号	士	審査月日	令和 年 月 日	審査会場	
受審段位	段	審査月日	令和 年 月 日	審査会場	

全剣連番号		性別	男・女	満年齢	歳
フリガナ		生年月日	大正 昭和 平成	年 月 日	日生
氏名					
現称号取得年月日	昭和 平成	年 月 日	取得時登録団体	都 道	
現段位取得年月日	昭和 平成	年 月 日		府 県	
住所	〒 電話番号 ()				
メールアドレス	剣道六段以上受審者は記入すること				
職業	(大学生は学年も記入)				
審査料等	審査料	円	目剣連 手数料	1,000円	合計 円

※ 職業欄には、次の区分の中から該当するものを選択して記入してください。

なお、四段を受審する大学生は、学年も併せて記入してください。

大学生、大学院生、専門学校生、警察官、自衛官、刑務官、教員、公務員、会社員、自営業
団体職員、医師、主婦、無職、その他

(注) 剣道の称号及び四段以上の審査を受けようとする者は、この申込書に必要事項を記入してFAXにより目黒区剣道連盟事務局にお申し込みください。また、審査料及び手数料は添付の「払込取扱票」を使用して郵便振替で目黒区剣道連盟の口座に払い込んでください（払込取扱票の通信欄には、必ず払込明細を記入してください）。

なお、「払込取扱票」がない場合には、次の口座に払い込んでください。この場合は、通常払込料金が必要となりますのでご注意ください。

○ 口座記号番号 00150-2-777220

○ 加入者名 一般財団法人目黒区剣道連盟